



<学校の教育目標>
心豊かに たくましく 生きる子

4月号

さくら

可児市立桜ヶ丘小学校
No. 1
令和5年4月7日



祝 進級・入学おめでとうございます

木々の若葉が勢いよく芽吹き始めるさわやかな季節になりました。

新入生58名を迎え、全校児童437名で令和5年度の桜ヶ丘小学校がスタートします。今年度も「心豊かに たくましく 生きる子」を学校教育目標として、子どもたちのよりよい成長を願って、様々な活動に取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

学校は自分たちで楽しくするところだ！

ITの普及、人口知能(AI)の発達、グローバル化の加速など、ほんの数十年の間に社会は大きく変化し、私たちの生活はどんどん便利になりました。刻々と変化する予測困難な社会を生き抜くために、子どもたちが主体的に学び、活動することが求められています。昨年度末、執行委員会を中心に、「だれかが準備してくれた楽しさではなく、仲間と一緒に自分たちで学校を楽しむ」活動を仕組み、取り組んでくれたことに私は感心しました。今年度もその流れにのって、全校児童が自分たちの手で学校を楽しくしていくことを期待しています。

- * 授業の内容がよくわからないことがある。
- * 運動がじょうずにできるのか心配だと思う。
- * 漢字や計算の練習が面倒だと感じる。
- * 係や委員会の活動にやる気がでないことがある。



そんなとき、「何かやりたくないな」と避けるのではなく、「まず、やってみる」。そして、上手くいかなかったら、その原因を考えてやり方を改善し、「よし、もう1回！」と再挑戦してみる。つまり、「よい結果を出すこと」が大事なのではなく、「よい結果を出すために“挑戦”し続けること」が大事だと私は考えています。ソチ五輪と平昌五輪で2大会連続金メダリストの羽生結弦選手は、あるテレビ番組のインタビューで「努力は嘘をつく。でも、その努力は無駄にはならない。努力の正解を見つけることが大切だ。」と語っています。失敗することを前提に努力する人はいないし、「たぶん上手くいかないかも。」とネガティブな気持ちで努力している人が成功することはないでしょう。羽生結弦選手は、「一生懸命やっても上手くいかないことはあるけど、成功するためには、努力を常に見つめ直すことが大切である。」と伝えたかったのだと私は思います。

- * できなかったことが、できるようになること。
- * よくわからないことが、わかるようになること。
- * 知らなかったことを、調べていくこと。

学校で学ぶこと、体験することは本来楽しいものです。ワクワク感あふれる活動ができるよう、全職員が一丸となって、子どもたちをサポートしていきます。

1年間よろしくお願いいたします。

林 弘

